

# 平良市島尻「島尻集落」

集落  
部門

## パーントゥが見守るふるさとづくり (平成15年度認定)



宮古市島尻集落は、宮古島の北西に位置する昔ながらの集落である。農業が盛んな地域であり基幹作物のサトウキビ作を中心に畜産（肉用牛）、熱帯果樹（マンゴー）等が盛んに営まれており、近年農業生産基盤整備を積極的に導入した結果、ほ場及び畑地かんがい施設の整備がほぼ完了し、農地の集団化及び経営耕地面積の拡大が図られ機械化農業・水利用農業が確立し、農業所得の向上を図りながらゆとりある農業の展開を進めている地域である。

生活環境整備においても、集落道、農村公園、集会施設等が整備されており、地域に数多くある文化財、天然記念物、宮古諸島で最大規模の群落を形成するマングローブ林等を散策する里めぐり遊歩道の整備は子ども達の「総合学習の場」としておおいに利用されており、特にマングローブ林内の石橋遊歩道は多くの観光客も訪れる観光スポットにもなっている。

集落には昔からの伝統行事も数多く伝承されており、国の重要無形民俗文化財に指定されている「島尻のパーントゥ」は全身に泥を塗った「パーントゥ」が乳幼児や地域住民に泥を塗りつける事で、乳幼児の健康祈願や地域住民の無病息災祈願及び集落の厄払い行事として地域に昔から継承されている行事であり、近年多くの観光客等の参加も見られている。

今後地域活性化に向けた取り組みとして、豊かな自然環境を活用して観光産業と連携したグリーン・ブルーツーリズムの展開、また昔から伝承されている伝統行事やマングローブ林を活用したエコツーリズム等を展開しながら活力に満ちた魅力溢れる快適な「パーントゥの里づくり」を進めている。

